

教育委員会会議 4 月定例会 会議録

日 時	平成24年4月24日（火） 14:00 開会 15:10 閉会				会 場	教育委員会室
出席委員	岸本 伍郎	居原田 洋子	渡邊 信介	吉井 常浩	田村 芳倫	
出席職員	今井学校教育部長		行田生涯学習部長		清水こども保健部長	
	絹田学校教育部企画調整官（兼）教育総務課長			青山生涯学習部次長（兼）企画調整官		
	高務学校教育次長（兼）保健給食課長			内海生涯学習部次長（兼）スポーツ課長		
	忠政こども保健部次長（兼）こども課長			分部学校施設課長		
	吉田学校教育課長		飯田生涯学習課長		大倉図書館長	
	竹内文化課長		織田こども課参事		河野教育総務課主査	
	芦田教育総務課主査					
議 事	案 件				担 当 課	
1.開 会 2.委員長あいさつ 3.会議録署名者 について 4.前会会議録の 承認 5.教育長等の 報告 6.議 事 (1)議 案 (2)報 告 7.その他 (1)各課からの 報告 (2)次回定例会の 開催について (3)その他 8.閉会	(1)議案 、 、 (2)報告 は非公開へ、最後に審議。 津山市教育委員会処務規則の一部改正について 校務を分担する主任等の命免について 津山市社会教育委員の委嘱について 津山市青少年育成指導委員の委嘱について 津山市指定文化財の解除について 執行体制（平成24年4月1日現在）について 平成23年度事故報告一覧について 平成24年度児童生徒数・学級数（速報値）及び管理職名簿について 平成24年度学校教育課施策と主な取組について 平成24年度学級安心サポート事業実施状況について 津山市公民館活動推進協議会委員の委嘱について 文化財保存修理事業の完了について くすのき賞の授与について 東日本大震災被災者の幼稚園入園の取り扱いの変更について 親子音読大会について 映画「エクレール・お菓子放浪記」上映（5/26）について 美作国建国1300年記念事業プレイベント 「松下奈緒コンサート」（7/14）について 津山加茂郷フルマラソンの結果について ・津山市教育委員会会議5月定例会の日程について 平成24年5月22日（火）午後2時から				(学 校 施 設 課) (学 校 教 育 課) (生 涯 学 習 課) (生 涯 学 習 課) (文 化 課) (各 課) (学 校 教 育 課) (学 校 教 育 課) (学 校 教 育 課) (学 校 教 育 課) (生 涯 学 習 課) (文 化 課) (文 化 課) (こ ど も 課) (生 涯 学 習 課) (文 化 課) (文 化 課) (ス ポ ー ツ 課)	

傍聴者 0名

教育委員会会議 4 月定例会 会議録

(14 : 00)

1 . 開 会

2 . 委員長あいさつ

3 . 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条 2 項の規定による。

4 . 前会会議録の承認

全員賛成

非公開事案の採決

議事の前に、6. 議事(1)議案 、 、 、 及び(2) 報告の の 4 件は津山市教育委員会会議規則第 13 条第 1 項の規定に該当するとして、以上、4 件の非公開を可決承認。

5 . 教育長等の報告

今回は該当なし。

6 . 議事

(1) 議案

津山市教育委員会処務規則の一部改正について(学校施設課)

概要説明

教育委員会処務規則の中で学校施設課に関するものについて改正を行うもの。内容は昨年度、教育総務課から発展的に学校施設課が新設され、教育総務課の中にあった処務規則の項目をピックアップし、新たに学校施設課の事務分担が分かるようなものを作成していた。ところが、今年度 4 名の増員があった中で、現在定めている処務規則の内容が実状とそぐわない面があるとの人事課からの指摘を踏まえ、現在執行している事務の細分化と内容が明確になるよう明文化、また簡素に事務が行えるようにするもの。全員挙手により原案通り可決承認

津山市指定文化財の解除について(文化課)

概要説明(資料 6-1-5)

津山市文化財保護条例第 4 条の規定により、市重要文化財「市指定天然記念物第 90 号 三成のヒイラギ」の指定を解除するもの。本樹については、平成 12 年頃から樹勢の衰えが目立ち始め、その後平成 15 年度に樹木医が回復処置を施したが、平成 23 年度には枯死状態であり、回復の見込みがないと判断し、解除するもの。この案件については本年 3 月 27 日開催の津山市文化財保護委員会から意見具申されたもの。

全員挙手 - 原案通り可決承認

(2) 報告

執行体制(平成 24 年 4 月 1 日現在) について(各課)

概要説明(資料 6-2-1)

教育委員会内の執行体制を説明

平成 23 年度事故報告一覧について(学校教育課)

概要説明(資料 6-2-2)

昨年度の児童生徒関係、学校・教職員関係毎に月別の事故件数と教職員の交通事故関係の月別の件数を報告。資料へは平成 21・22 年度の件数も数値化。児童生徒関係の事故件数を過去と比較すると、全体的には残念ながら増加傾向にある。このことについては、校長会議等で学校に適切な指導をお願いしてい

る。本年度についても数値が減るよう指導している。86 件の事故のうち、問題行動等の 42 件は課題となるところだが、これは特定の学校の特定の児童生徒に係るものが重なったもので、現在指導をしている。ちなみに本年度 4 月当初は減じた数値で報告されている。学校・教職員関係についても 22 件のうち、特に不適切対応については、部活動における、いき過ぎた指導が比較的目標立つもので、こちらについても学校へ指導をしているところ。教職員の交通事故関係は件数が非常に多くなっているが、事故内容としては比較的軽微なものが多く大事故に至っていないが、改めて教職員の交通事故防止についての意識を高めるような指導をしている。

平成 24 年度児童生徒数・学級数（速報値）及び管理職名簿について（学校教育課）

概要説明（資料 6-2-3）

資料により説明。また、スクールヘルパー、小 1 グッドスタート（県事業）等の配置数も併せて報告。なお、昨年度あった、緊急雇用の配置は本年度なし。

平成 24 年度学校教育課施策と主な取組について（学校教育課）

概要説明（資料 6-2-4）

本年度策定された、津山市教育振興基本計画に基いて教育スローガンそして、「施策と目指す学校」と言うことで校長会議等でも示している。目指す学校としては資料にありますとおり、どの子にとっても「楽しい学校、分かる授業」の実現を目指すということで、施策的には柱を 5 つの点におき 確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成、特別支援教育の充実、開かれた学校づくりとし、その内容として、先程来でています、問題行動或いは不登校への取組み、特別支援教育の充実といったあたりについては、具体的な取組みとして挙げているものが、資料右にある、確かな学力の向上に対応するものとして、特に柱として考えているものは「小中学校連携事業の実施」で、本年度、組織的体制を整備することを行い、各学校より小中学校連携担当を分掌の中に位置づけ、各中学校ブロックにおいて連携の取組みを強化していくよう考えている。

また、問題行動等への改善に向けて、本年度新たに取り組むものとしては、「全小学校 5 年生への Q U 検査の実施」であります。Q U 検査とは、学級におけるそれぞれの子どもの満足度、或いは人間関係の充足感等が分かる心理検査。全 5 年生に対して行い、学級におけるそれぞれの子どもの状態等を把握して、また、5 年生という学年で行うことで小学校高学年になって安定した学校生活を送れるような取組みに繋げること、或いは小中連携でこの子たちが中学校で生活するようになる時にも指導の資料として活かすことを考えている。

また、特別支援教育の充実、開かれた学校づくりについても、通常学級での特別支援教育の視点を活かした指導力向上の取組み、学校支援体制本部の充実・地域担当の分掌化（県全体の取組み）等を行いつつ充実させていきたい。

平成 24 年度学級安心サポート事業実施状況について（学校教育課）

概要説明（資料 6-2-5）

昨年度 8 名で取り組んだ事業であるが、今年度は 10 名の配置で実施するもの。昨年度は多人数学級対象で、36 人以上の通常学級及び 6 人以上の特別支援学級に配置していたが、本年度の特長なこととしては、特別支援学級への配置が主なものとなっていること。36 人以上の通常学級については、小学校 1 年生の弾力的な編制、2 年生の加配による弾力的な編制、或いは市独自の弾力的編制によりかなりの学級が 35 人学級という形で学級編制を行っている。その中でなかなか対応しきれなかった特別支援学級についての配置が多くなっているのが現状。配置状況についても学級に対する配置が主なものであったが、その運用はやや緩和し学級を中心に行うが、学校の実情に応じて、学校の課題に応じた運用が出来るような形で学校に示している。

文化財保存修理事業の完了について（文化課）

概要説明（資料 6-2-7）

津山市指定重要文化財 八出天満宮保存修理事業の完了について報告。経年劣化により昨年 7 月から進めてきた本殿の保存修理工事が完了し、屋根を鉄板葺きから銅版葺きに替えたもの。事業費は 15,957,773 円（国・市・地元が 3 分の 1 ずつ負担）。次に、津山城宮川門跡石垣保存修理事業の完了について報告。石垣がはらんで危険な状態であったため、昨年 8 月から修理を進めてきたもので、全長 20 m を解体して積みなおした。事業費は 30,228,550 円（国・市が 2 分の 1 ずつ負担）。

くすのき賞の授与について（文化課）

概要説明（資料 6-2-8）

津山市文化連盟は地域の文化や芸術の発展に貢献した個人・団体に贈る平成 23 年度くすのき賞の受賞団体に、半世紀以上にわたり加茂地区の郷土史の調査、研究活動に取り組まれている加茂郷土史研究会を選んだ。同研究会は昭和 30 年に設立、万燈山古墳発掘調査事業への参画、かもだにことばの出版など非常に息の長い地道な活動が評価されたもの。表彰式は 4 月 25 日、津山市役所東庁舎で行う。

東日本大震災被災者の幼稚園入園の取り扱いの変更について（こども課）

概要説明（資料 6-2-9）

東日本大震災における被災児童が幼稚園へ入園した場合、幼稚園の保育料及び預かり保育の本人負担金について平成 24 年 3 月末を限度として免除することとしていたが、平成 25 年 3 月末までに期間を変更するもの。

（非公開）

削除

7. その他

(1) 各課からの報告

親子音読大会について（生涯学習課）

概要説明

4 月 23 日から 5 月 12 日はこどもの読書週間となっており、市役所 1 階ロビーにて 4 月 23 日から 5 月 2 日まで子どもの読書活動を啓発するパネル展を行っている。この読書週間にちなんだ取組みとして、今年で 3 年目になるが、5 月 6 日、津山市立図書館（アルネ 4 階）にて親子音読大会を実施する。18 組の親子が出場予定。この催しを通して家族で触れ合う時間、絆を深めていただくことも期待している。

映画「エクレール・お菓子放浪記」上映（5/26）について（文化課）

概要説明

主催は、委員長が津山市長の「エクレール・お菓子放浪記」津山市上映実行委員会。上映は、5 月 26 日、津山文化センターにて 2 回の上映を行う。内容は、戦争で孤児となった少年がお菓子のエクレールへの憧れを支えに、戦中戦後をたくましく生きぬく物語。エキストラで出演された石巻市民の多くの方々が東日本大震災で被災され、被災地支援のため全国各地で上映されている。入場料の一部が東日本大震災の被災孤児支援として寄付されることとなっている。

美作国建国 1300 年記念事業プレイベント「松下奈緒コンサート」（7/14）について（文化課）

概要説明

主催は（財）津山文化振興財団、津山市は共催団体となっている。7 月 14 日、津山市文化センターにて開催する。

津山加茂郷フルマラソンの結果について（スポーツ課）

概要説明

4 月 15 日に開催されました、第 20 回津山加茂郷フルマラソンでは委員の皆様にご臨席いただきお世話になりました。当日は好天に恵まれ、全国から 1640 人の出場があり、内訳は、フルマラソン 1266 人、ミニマラソン 374 人であった。特別招待選手の天満屋女子陸上部アドバイザー山口衛里さんもミニマラソンに参加していただいた。また、大会を盛り上げるためキャラクターかもラン君とかもランちゃんの着ぐるみも登場した。スタート時の気温は 17 度で、フルマラソンでは 1188 人が完走した。完走後、1 名が体調が悪くなり病院を受診したが軽症であった。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 5 月定例会を、平成 24 年 5 月 22 日（火）午後 2 時から開催。全員賛成により決定。

(3) その他

なし

8.閉会

(15 : 10)